

平成15年7月31日
中国電力株式会社
株式会社 エネルギア・エコ・マテリア

韓国電力公社電力研究院との石炭灰有効活用に関する 技術指導契約の締結について

中国電力(株)および(株)エネルギア・エコ・マテリアは、石炭火力発電の副産物である石炭灰を有効活用した新素材コンクリート「NAクリート」と、石炭灰であるクリンカアッシュを大量配合したコンクリートに関する技術について、このたび、韓国電力公社電力研究院と技術指導契約を締結いたしました。

中国電力では、これまで環境問題への取り組みの一環として、石炭灰を有効活用した土木材料および土木製品等の商品開発に積極的に取り組んでまいりました。

また、石炭灰等の有効活用商品の販売と石炭灰活用技術の指導・コンサルティングを行うエネルギア・エコ・マテリアを本年4月に設立し7月から営業を開始しているところです。

一方、韓国国内では、現在、石炭灰のうちクリンカアッシュの全量を廃棄物として埋立処分されており、韓国電力公社はこの埋立処分されたクリンカアッシュを活用したコンクリートの開発に取り組んでおられます。

このたびの契約締結は、当社が開発した石炭灰の有効活用技術を韓国電力公社に提供し、韓国国内で埋立処分されたクリンカアッシュを活用したコンクリートの開発をはじめとする実際の技術指導をエネルギア・エコ・マテリアが行うものです。

今後、今回の技術指導契約の締結を契機に3社で技術交流を図り、石炭灰に関する多数の技術開発・実用化を共同で進めていくことを期待しています。

(契約内容)

1. 契約締結月日： 平成15年6月30日
2. 技術指導内容： ・埋立用石炭灰の材料評価手法に関する技術
・埋立用石炭灰活用コンクリートの配合に関する技術
・「NAクリート」の材料評価手法に関する技術
・「NAクリート」の配合設計に関する技術 等
3. 契約期間： 平成15年6月30日～平成16年11月30日

注「NAクリート」

石炭火力発電の副産物である石炭灰(フライアッシュ原粉)と製鋼所等から発生するスラグやクリンカアッシュなどを大量配合した新素材コンクリート。アルカリ性が低いため海生生物が付着しやすいなど環境調和型コンクリートで、海洋コンクリートとして高耐久性を持ち、消波ブロックや防波堤上部工の他、魚礁等に用いられている。

注「クリンカアッシュ」

石炭火力発電所ボイラー内で燃焼によって生じた石炭灰の粒子が溶解して相互に凝集し、ボイラー底部の水槽に落下堆積したもの。一方、ボイラー内の燃焼ガス中を浮遊し電気集塵器に集められたものを「フライアッシュ」という。

以上

添付資料：[「韓国電力公社 電力研究院」の概要](#)
[「株式会社 エネルギア・エコ・マテリア」の概要](#)

「韓国電力公社 電力研究院」の概要

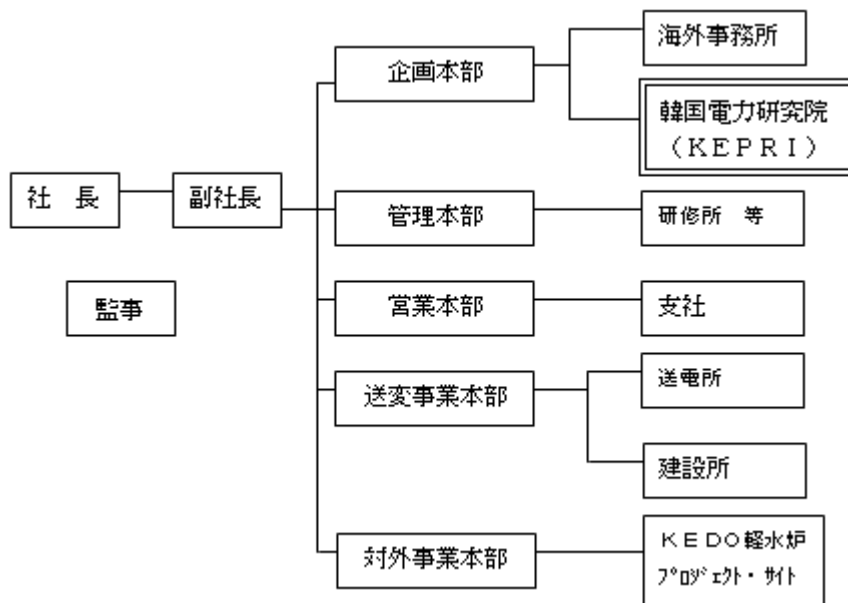
1. 韓国電力公社電力研究院の業務内容

韓国における電力産業技術の開発の中心となる研究所。発電における効率的かつ安全安定運転を行うための必要な技術開発や、送電・変電等の電力系統技術、原子力発電技術の開発のほか、生態系保護技術ならびに太陽光発電、燃料電池等の未来エネルギー技術等の研究開発を行っている。

2. 韓国電力公社の概要

- (1) 社長 姜 東錫(Kan, Dong-Suk)
- (2) 資本金 3. 2兆ウォン
- (3) 社員数 18, 912名
- (4) 事業概要等・送変電事業, 配電事業, 販売事業 等
 - ・電力需給の安定を図るとともに国民経済発展に貢献することを目的に1961年に設立。2001年に経済構造改革の一環として発電部門を分割。

3. 韓国電力公社の組織図



「株式会社 エネルギア・エコ・マテリア」の概要

1. 会社名 株式会社 エネルギア・エコ・マテリア
2. 所在地 広島市中区国泰寺町一丁目3番32号
(ERE国泰寺ビル5階)
3. 設立月日 平成15年4月1日
4. 取締役社長 末廣 恵雄(すえひろしげお)
(中国電力(株) 常務取締役の兼務)
5. 役員 取締役3名, 監査役1名
6. 社員数 社員15名
7. 事業概要 石炭灰有効活用商品の製造・販売
石炭灰有効活用のコンサルティング
石灰石粉末の製造・販売
石膏有効活用商品の製造・販売 など
8. 資本金 3億円(中国電力(株) 100%出資)
9. 年間売上 20億円程度(平成18年度)